

2021年度総会報告



特定非営利活動法人 ふれあいの家-おばちゃんち
140-0001 品川区北品川2-28-19 品川宿交流館3F
Tel&Fax:03-3471-8610
E-mail:fureai@obachanchi.org
http://obachanchi.org/ 202107発行

2021年度の定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年5月16日(日)にオンラインで開催しました。正会員42名のうち、書面による議決権行使4名、委任状提出9名、オンライン出席29名となり、定款第27条に定める定員数を満たしたことで総会は有効に成立しました。なお、各議案は、定款第28条2により正会員の過半数をもって可決されました。

2020年度活動経過報告

年度初めから年度末まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に翻弄される1年間となった。4月7日の緊急事態宣言発令、5月25日の解除、その後の第二波、第三波の感染拡大、年が明けてからの2度目の緊急事態宣言と延長。常に状況をどう判断し、いかに対処するかは難しかったが、第一に感染拡大させないこと、子どもと保護者、そしてスタッフの安全、命を守ることを最優先とした。預かり保育は、不要不急の要件での預かりは控えてもらい、緊急性や必要性が高いと判断できるケースで短時間の預かりとした。そのため預かり総時間はかなり少なくなったが、区からの補助金(家賃等固定費)は変わらなかったのがよかった。冒険ひろば事業は、区からの指示で年度初めに休止期間、その後は定員を設けての縮小開園となり、制約のある中工夫をして事業を行った。他の事業も中止や、縮小実施のものがほとんどで、我慢の1年だった。そのような中、実行委員会が決断したオンラインメッセの開催は大きな成果を上げた。事務局はテレワークを取り入れ、新しい働き方を模索し、そのための仕組みも取り入れてきた。

このような1年でも、「できることを、できる人が、楽しく」というモットーからふれないことを常に意識してきたが、打って出ることより守りの姿勢の1年に余儀なくされた。2、3月にはコロナ禍の中で出産、子育てをしている保護者の生の声、実態を知る機会があり、来年度は新型コロナと共にありながらもできる、新たな事業の模索の時になったのだと実感した年度末となった。

【事業】

1. 既存事業の安定した運営を図ると共に、新規事業展開を視野に入れて、できることは動き始める。
 - 1-① 「できることを、できる人が、楽しく」を大切に、チームで工夫してできることを実施してきた。各事業の充実をはかるまではできなかった。
 - 1-② 「求められているもの、やりたいこと」の声に耳を傾け、コロナ禍のために、新たに取り入れたオンラインのための道具や方法が、新規事業展開を始めるきっかけとなってきた。
 - 1-③ 多世代交流、子育てひろばの充実を視野に入れ、品川宿おばちゃんちの再移転先として、『預かり、親子ひろば、カフェ』の三つのエリアを持てるような空き店舗を探してきたが、特に進展はなかった。

【組織】

2. 安定した運営と更なる発展を見据えて、財政的な見通しと、次世代人材育成に努める。
 - 2-① コロナ禍の中、十分にはできなかったが、各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に努めるよう心がけた。
 - 2-② 冒険ひろば事業所管の育成支援係と定期的に会合を持つことで品川区との信頼関係が進んだ。広場交流会に初めて育成支援係長が出席されたりという深まりもあった。子育てメッセ以外の品川区との共催事業の展開はできなかった。

目次

ふれあいの家—おばちゃんち	2021 総会報告号	1
---------------	-----------------------------	---

ふれあいの家－おばちゃんち 2021 総会報告号

2021年度総会報告



特定非営利活動法人 ふれあいの家-おばちゃんち
140-0001 品川区北品川2-28-19 品川宿交流館3F
Tel&Fax:03-3471-8610
E-mail:fureai@obachanchi.org
http://obachanchi.org/ 202107発行

2021年度の定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年5月16日(日)にオンラインで開催しました。正会員42名のうち、書面による議決権行使4名、委任状提出9名、オンライン出席29名となり、定款第27条に定める定員数を満たしたことで総会は有効に成立しました。なお、各議案は、定款第28条2により正会員の過半数をもって可決されました。

2020年度活動経過報告

年度初めから年度末まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に翻弄される1年間となった。4月7日の緊急事態宣言発令、5月25日の解除、その後の第二波、第三波の感染拡大、年が明けてからの2度目の緊急事態宣言と延長。常に状況をどう判断し、いかに対処するかは難しかったが、第一に感染拡大させないこと、子どもと保護者、そしてスタッフの安全、命を守ることを最優先とした。預かり保育は、不要不急の要件での預かりは控えてもらい、緊急性や必要性が高いと判断できるケースで短時間の預かりとした。そのため預かり総時間はかなり少なくなったが、区からの補助金(家賃等固定費)は変わらなかったのがよかった。冒険ひろば事業は、区からの指示で年度初めに休止期間、その後は定員を設けての縮小開園となり、制約のある中工夫をして事業を行った。他の事業も中止や、縮小実施のものがほとんどで、我慢の1年だった。そのような中、実行委員会が決断したオンラインメッセの開催は大きな成果を上げた。事務局はテレワークを取り入れ、新しい働き方を模索し、そのための仕組みも取り入れてきた。

このような1年でも、「できることを、できる人が、楽しく」というモットーからぶれないことを常に意識してきたが、打って出ることより守りの姿勢の1年に余儀なくされた。2、3月にはコロナ禍の中で出産、子育てをしている保護者の生の声、実態を知る機会があり、来年度は新型コロナと共にありながらもできる、新たな事業の模索の時になったのだと実感した年度末となった。

【事業】

1. 既存事業の安定した運営を図ると共に、新規事業展開を視野に入れて、できることは動き始める。
 - 1-① 「できることを、できる人が、楽しく」を大切に、チームで工夫してできることを実施してきた。各事業の充実をはかるまではできなかった。
 - 1-② 「求められているもの、やりたいこと」の声に耳を傾け、コロナ禍のために、新たに取り入れたオンラインのための道具や方法が、新規事業展開を始めるきっかけとなってきた。
 - 1-③ 多世代交流、子育てひろばの充実を視野に入れ、品川宿おばちゃんちの再移転先として、『預かり、親子ひろば、カフェ』の三つのエリアを持てるような空き店舗を探してきたが、特に進展はなかった。

【組織】

2. 安定した運営と更なる発展を見据えて、財政的な見通しと、次世代人材育成に努める。
 - 2-① コロナ禍の中、十分にはできなかったが、各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に努めるよう心がけた。
 - 2-② 冒険ひろば事業所管の育成支援係と定期的に会合を持つことで品川区との信頼関係が進んだ。広場交流会に初めて育成支援係長が出席されたりという深まりもあった。子育てメッセ以外での品川区との共催事業の展開はできなかった。

2-③ 新型コロナウイルス関連で勤務時間が削減されているが、まず年度始めの3か月は、契約給与補償をした。次に4か月目からは、主に預かり事業の非常勤、事務局の給与は著しくさがってしまったので、年末に1ヶ月相当を手当として支給した。そして1、2月の65歳以上室内対人支援事業非常勤スタッフの勤務は停止したが、給与は年齢に関係なく、契約金額の5割と直近3ヶ月勤務実績の6割とで多い方の金額で給与補償をできる限り行った。本年度予算で不足した分は、繰越金から充当した。子育て交流ルーム補助金、冒険ひろば委託費が減額されないよう品川区に求め、昨年と変わらない金額で継続できた。

【ネットワーク・地域連携】

- 3.個人、団体やグループ、行政、企業との信頼関係に基づくネットワークと連携を活かし、さらに多角的に事業が展開できるようにする。
- 3-① 様々な立場年代の人が信頼関係で繋がり、仲間として、共に子育てにやさしいまちづくりをすすめるように個人や団体・グループ間を相互に繋ぐコーディネーターの役割を担うよう努め、新規の事業を展開したいという意図での相談を何件か受けた。おばちゃんち内外での今後の動きに繋がる可能性がある。
- 3-② おばちゃんちの活動を理解し、協働する個人・団体との関係を広め、各地域(北品川、中延、八潮、南大井)でのまちづくりをすすめるように心掛けた。
- 3-③ おばちゃんちがつながるネットワーク(子ネット、子若ネット、協働ネット、しな木ネット、子ども食堂ネット、文化活動のネット(にじっこコンサート、あそびうたフェスティバル、ふれあいこどもまつり等)、児童虐待防止推進のネット等)を活かし、さまざまな課題を協働して解決していくことに努めた。
- 3-④ 品川区の外遊び環境がもっとよくなり、第3、4の冒険ひろばが区内西部にできるよう、NPO法人そとぼーよ、他の外遊び、冒険あそび推進団体と協働して大きく動くことはできなかったが、そとぼーよの新規委託事業(あそびの出前)に協力し、見守ってきた。
- 3-⑤ 対面で関わり合う機会は減ったが、オンラインでの新たなコミュニケーション方法を手に入れたことで、この事態の中でこそ必要なことは何かを探り、ネットワーク自体の変化、新たな可能性を感じることができた。

【組織運営】

- (1) 各事業の自立的運営と相互の連携体制の確立に引き続き努めた。
- (2) 事務作業の明確化と共に簡素化、効率化に努め、オンライン会議開催を安定的に行えるよう環境整備をした。また、在宅ワークが効率的にできるように、各種データのクラウド化の準備を行った。
- (3) 予算化の可視化は保留され、次年度の課題とした。

【事業の実施】

- (1)ふれあい広場 <つどい、くつろぎ、元気がでる>
- ① ホットほっとHOT[独自事業] 9月27日(日)に、「赤ちゃん木育ひろば」とコラボ開催を予定していたが、宿場まつりが中止となったことに伴い、中止した。
- ② みこちゃんち[独自事業] 緊急事態宣言発令中は中止、解除後に人数制限、短時間、飲食なしで行い、0~4組の利用。北浜を活用しながら行った。預けるために見学にくる親子もいた。相談来所は少なかった。
- ③ しょうちゃんち[独自事業] 緊急事態宣言発令中は中止、解除後に人数制限、短時間、飲食なしで行い、徐々に参加者は増えた。多い日は隣の部屋も活用。常連もいて和やかな空間作りができた。相談は親同士とスタッフで和気あいあいと話ができた。

-
- ④ なんくるないさ～[独自事業] 開催見送り、新規の取り組みも難しかった。
 - ⑤ 北浜こども冒険ひろば[品川区管理運営業務委託事業] 宣言中は休園。その後迂回路、お守りカード、飲食焚火木工なし、人数制限で開催。近隣からの意見要望も多かったが、見守る目も感じた。遊びが増え幅が広がった。
 - ⑥ しながわこども冒険ひろば[品川区管理運営業務委託事業] 宣言中は休園。その後お守りカード、飲食焚火木工なし、人数制限で開催。徐々に再開している。子どもの遊びに変化、生き活きとした姿も。そとぼ～よ！も開催。大型遊具の解体、再設置を行った。
 - ⑦ ほっと・サロン@八潮にじっこ[品川区社会福祉協議会助成事業] 会場閉鎖中は休止。再開後は戸外と二部屋利用。参加者と協力し、新しい工夫ができた。コロナ禍の不安を共有、尊重した。戸外での親子ひろばの興味が増えた。口コミが今まで以上に届かなくなっていると感じる。
 - ⑧ 忍者修業の旅[協働事業(礎会、品川こども劇場)] 春、秋とも中止。

(2)あずかり広場 <困った時はおたがいさま>

- ① 子育て交流ルーム「品川宿おばちゃんち」ほっぺ[品川区助成事業] 5月末まで閉所、相談は受ける。消毒、換気、利用制限(人数、時間、食事・おやつなし)を設けて再開。預かり人数は少なかった。1月以降高齢スタッフ等自宅待機を要請。スタッフの気持ちを大事に勤務考慮した。
- ② 子育て交流ルーム「昭和通りおばちゃんち」わっこ[品川区助成事業] 5月末まで閉所したが、どうしても預かりが必要な方の対応を行った。消毒、換気、利用制限(人数、時間、食事・おやつなし)を設けて再開。利用者に理解してもらえた。1月以降高齢スタッフ等自宅待機を要請。スタッフの気持ちを大事に勤務考慮した。そのほか対面なし説明登録の難しさを感じた。
- ③ 派遣保育「えくぼ」[独自事業] 依頼はメッセージのみ。適正人数、体調不良判断は難しかった。おかえりなさい会、ふりかえり会も中止。サポーターと個々に電話連絡し、お便りで近況報告を行った。そのほか林試の森公園散策、サポーター向けのオンライン交流会を実施した。

(3)まなびあい広場 <みんなでいきいき、子育て、自分育て>

- ① 子育てサポーター養成講座10回30時間[独自事業] 対象者、内容がオンライン向きでなく、オンラインに切り替える時間と技術がなかったため開催中止。「緊急事態の手当て」、「発達障害児理解と支援」をスタッフ研修とし実施した。
- ② 「完璧な親なんていない」親支援講座(NP講座)7回×1クール[品川区管理運営業務委託事業] 計画していたが、開催は見合わせた。
- ③ 小学生保護者支援講座[独自事業] 開催は見合わせた。
- ④ そとあそびわくわく講座(旧プレイパートナー養成講座)[独自事業] Zoomを使って3回実施、外部団体の協力を受けスムーズに進行できた。プレイヤーの自分史的な語り、危ない場面での見守り、外遊びの魅力と現状、問題を参加者と共に考えた。3回とも参加者が多く、見逃し配信も実施し好評だった。
- ⑤ 相談事業「えがお」[品川区助成事業・独自事業] 各部署で随時、スタッフが相談を受けてきた。コロナ禍での新たな悩みも少なくない中、相談を受けやすくする工夫は十分にはできなかったため、メール相談の窓口を開いたが、新規の相談はなかった。
- ⑥ ら～ん・ういず[独自事業] コロナ禍だからこそ、何かをやらなくてはという気持ちになる人がいることを実感。新しい事業を始めたい、探っている個人、グループの相談が例年よりも多かった。
- ⑦ 親子広場事業交流・学習会[独自事業] リアル会場で、区内の子育て環境、虐待の実態や気づくポイント、ひろばに大切なこと、と3回実施。3回目には、育成支援係長が出席され、民間のひろば活動の様子を知ってもらう機会となった。

(4)つながりあい広場 <点から線へ、そして面へのネットワーク>

- ① ニュースレター発行他広報[独自事業] Web記載で総会報告号、40、41号発行。HP、ブログへのアクセスは更にモバイル率が高くなっている。新たにInstagramを開始。ネットショップを取り入れ、会費、寄付はクレジットカードなどでも支払い可能になった。
- ② 各種ネットワーク参加
 - *子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ(子ネット)[事務局担当] 3月に1回のみ開催。【子育て支援の変化とは～新たなふれあいの模索にチャレンジしてみよう～】(講師:駒崎)を聞き、意見交換、交流をし、よい学びと交流の機会となった。
 - * (一社)子ども若者応援ネットワーク品川[団体参加] 運営会議に参加 セミナーは中止。幾島個人の立場で保護者支援事業のファシリテーター担当。
 - * 協働ネットワークしながわ[団体参加] 2020年度は区事務局が主体となって事業実施。団体としての参加はほぼなかった。
- ③ 品川子育てメッセ[共催 品川子育てメッセ実行委員会・品川区] オンラインで開催。ユーチューブライブ配信とZoomを3部屋に分け配信。地域で出会いに結び付く紹介、講座を実施した。今まで取り上げられなかったテーマも実現。意義、手ごたえを感じられた。
- ④ 児童虐待防止推進事業[共催 品川子育てメッセ実行委員会・品川区][協働ウーヴ、品川こども劇場、しながわチャイルドライン] 未実施

(5)きかくの広場 <智恵と工夫を持ち寄ろう> 特になし。

(6)行政、地域、他団体とのネットワーク[共催・協働事業]

- ① にじっこコンサート <にじっこコンサート実行委員会>
11月23日(月)きゅりあん大ホール 新沢としひこ・ケロボンズ コンサート 中止
- ② あそびうたフェスティバル <あそびうたフェスティバル実行委員会>
2月23日(火) 荏原文化センター大ホール 中止
- ③ 子ども・若者応援セミナー <子ども若者応援ネットワーク>
例年の6～7月時期に開催はせず、秋以降の開催を目指す。未実施
- ④ ふれあいこどもまつり <実行委員会>
2月11日(木)きゅりあん 舞台鑑賞・ワークショップ・あそびのひろば(運営参加) 縮小開催。
「あそびのひろば」は未実施。

2020年度決算報告

[NPOヒロバ\(NPOデータベース\)](https://www.npo-hiroba.or.jp/) <https://www.npo-hiroba.or.jp/>

[東京都生活文化局NPO法人ポータルサイト法人団体情報詳細](https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/houjin/npo_houjin/list/)

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/houjin/npo_houjin/list/



2021年度活動方針

おばちゃんちは、設立20年目に入るが、新型コロナウイルスの感染や対策の状況をよく見極め、感染拡大防止に努めながら、児童虐待のないまちを願い、「子どもの笑顔を真ん中に、心豊かに暮らせるまちづくり」を引き続きすすめる。そして、「あたたかな風」が品川のまちに吹き続けるよう、「できることを、できる人が、楽しく」、「ふれあい、あずかり、まなびあい、つながりあい」活動をおこなっていく。

昨年度は、事業縮小、休止を余儀なくされてきたが、今後も収束に向かう道筋が見えず、長引くことが予想される。そのような中、子育て世帯(保護者も子どもも)だけでなく、活動する人達(おばちゃんちスタッフやつながりのある団体やグループのスタッフ、仲間)も、ふれあいを持って心豊かに暮らせるように考えていきたい。今こそ求められていることは何かを考え、新規事業も含めてできることを実行に移していく。

持続可能なおばちゃんちを目指し、組織基盤整備、IT活用等の具体的な手立てを取りながら、各事業を行っていく。それはおばちゃんち単体の課題であると共に、つながりを持ってきた団体やグループにとっても共通する課題でもあるので、解決策自体を他団体と連携しながら、行っていきたい。

「子どもの権利条約」日本批准から26年が経ち、その精神にのっとり「東京都子ども基本条例」が今春成立した。この精神を基に「子どもの最善の利益」を最優先に、「子どもの権利」を尊重するまちづくりを進めていきたい。またSDGs、特に貧困、環境、多様性理解につながるものを意識していきたい。

【組織基盤整備】

コロナ禍でも、安定した運営と継続を見据えて、財政的な見通しと、次世代人材育成に努め、時代に即したIT化を進める。

1-① 財政

- ・事業縮小に伴い、預かり保育の時間数が減り、2020年度は赤字決算となった。このような非常時こそ繰越金を運用してできる限りの給与補償を行ったが、本年度は、先行きを見極めながら、赤字を極力押さえることと給与補償を行っていくことのバランスを考えていく。
- ・委託費、補助金が減額されることなく継続して運営できるように品川区との協働関係を進める。
- ・委託費、補助金に頼りすぎない財政を意識する。
- ・各事業ごとの予算化を行い、冒険ひろば事業は4年後の委託先変更を見据えて、一事業部としてかかる経費を明確にしていけるよう準備をする。

1-② 人材

- ・組織基盤整備として、各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に努め、徐々に次世代に引き継いでいく。
- ・各個人の持ち味を発揮できるよう、多様な働き方を柔軟に受け入れて行けるような環境整備を行う。

1-③ IT化推進

- ・コロナ禍でも安心してスムーズにコミュニケーションが取れ、会議や講演会、講座等が開催できるように、つながりのある専門領域の方の協力を得ながら、オンラインを活用し、技術のスキルアップを行う。
- ・事務局の在宅ワークと事務所勤務がバランスよくスムーズにできるように、セキュリティー体制を万全に整えながら、書類、資料のクラウド化を進めていく。また事務所内IT環境の整備を進める。

【ネットワークを活かした事業の分担と連携・協力】

2-① 事業分担と連携

- ・おばちゃんち以外の団体やグループ、行政、企業、個人との信頼関係に基づくネットワークと連携を活かし、さらに多角的に事業が展開できるようにする。
- ・コロナ禍の中で、「求められているもの、やりたいこと」の声に耳を傾け、この事態の中で必要なことは何かを探って事業展開を考え、おばちゃんちができることはネットワークも活かしながら実行する。おばちゃんちが主体となれないものは、おばちゃんちができることで連携、協力していく。
- ・子ネット、ひろば交流、子育てメッセ、子若ネット、協働ネット、しな木ネット、子ども食堂ネット、文化活動のネット《にじっこコンサート、あそびうたフェスティバル、ふれあいこどもまつり等》、児童虐待防止推進のネット等のつながりを活かしながら事業展開を行い、さまざまな課題を解決していくことに努める。
- ・おばちゃんちが活動する各地域(北品川、中延、南大井、八潮)で理解し合い、協働する個人・団体との関係を広め深め、その地域のまちづくりをすすめる。
- ・課題解決にサポートが必要な団体やグループからの要請を受け、パートナーとしてのサポートにも力を入れる。
- ・様々な立場年代の人が信頼関係で繋がり、仲間となって、子育てにやさしいまちづくりを共にすすめられるように、個人や団体、グループの相互を繋ぐコーディネーターの役割を担う。
- ・品川区との信頼関係、協働関係を深め、委託だけでなく共催事業の展開を探る。

2-② 情報集約、有効な発信

- ・コロナ禍の中で、実際に会うことが減った保護者が、子育てに関わる情報を得やすくできるよう、団体やグループの活動情報を集約し、発信する仕組みを、他団体と協力しながら作っていく。
- ・子育てメッセのオンライン開催により、当日参加できなかった人にも情報を届けられ続けたという成果を踏まえて、実行委員会、品川区と協力し、集約された情報をより有効な発信になるよう努める。

【組織運営】

- (1) 各事業の自立的運営と相互の連携体制の確立 引き続き努めていく。
- (2) 事務局事務の明確化 事務作業の明確化と共に簡素化、効率化に努める。また、在宅ワークの環境整備を進め、情報共有、WEB会議など、さらに進めていく。

【事業の実施】

※ すべての事業は、新型コロナウイルス感染拡大の状況、終息への動向をよく見た上で、縮小継続、中止、事業再開の判断をしていく。

(1)ふれあい広場 <つどい、くつろぎ、元気がでる>

- ① ホットほっとHOT[独自事業]宿場まつりが中止となったので、当面実施は見合わせるが、他の実施方法がないか探る。
- ② みこちゃんち[独自事業]誰もがふらりと立ち寄り、コロナ禍でも安心して過ごせるよう考慮する。北浜と連携し臨機応変に対応。
- ③ しょうちゃんち[独自事業]コロナ終息が見えるまでは密を避け、換気して、13～15時開催。終息見えてきたら柔軟に対応したい。
- ④ なんくるないさ～[独自事業]コロナ対応、事務所体制などから、実施は難しい状況。
- ⑤ 北浜こども冒険ひろば[品川区管理運営業務委託事業]コロナ禍前の雰囲気、関係性を取り戻す、新しい試みの模索。近隣関係見直し。「遊気」あふれる場に。

-
- ⑥ しながわこども冒険ひろば[品川区管理運営業務委託事業]子ども、みんなでつくり上げる場として模索。スタッフも意見を出し合う。子ども参画で大型遊具制作を。
*冒険ひろば共通:第3、4の冒険ひろばが区内西部にできるよう、NPO法人そとぼーよ、他の外遊び、冒険あそび推進団体と協働し、議会や区、区民に働きかけていく。事業委託の移行も見据える。
- ⑦ ほっと・サロン@八潮にじっこ[品川区社会福祉協議会助成事業]柔軟に対応、開催。曜日、二部屋利用、おばちゃんち以外の方法はあるか?など継続方法を考える。
- ⑧ 忍者修業の旅[協働事業(礎会、品川こども劇場)]状況を見ながら判断、可能ならば実施。

(2)あずかり広場 <困った時はおたがいさま>

- ① 子育て交流ルーム「品川宿おばちゃんち」ほっぺ[品川区助成事業]コロナ禍でもスタッフも利用者も安心できるよう、無理なく、状況に合わせて検討、改善していく。*世代交流、子育てひろばの充実を視野に入れ、品川宿おばちゃんちの再移転先として、『預かり、親子ひろば、カフェ』の三つのエリアを持てるような空き店舗探しを続ける。
- ② 子育て交流ルーム「昭和通りおばちゃんち」わっこ[品川区助成事業]対策を取り、条件付預かりを継続。子、保護者、スタッフが不安なく安心できるよう、みんなで作っていく。
- ③ 派遣保育「えくぼ」[独自事業]不安なく保育ができる環境整備。利用者、保育依頼団体とサポーター、サポーター同士の交流を図る。

(3)まなびあい広場 <みんなできいき、子育て、自分育て>

- ① 子育てサポーター養成講座[独自事業]10回開催なし。夏前におばちゃんち内外の研修。夏以降は保護者、孫育て、支援者向け等の講座開催。
- ② 「完璧な親なんていない」親支援講座(NP講座)[品川区管理運営委託事業]乳幼児の親たちはコロナ禍で不安感が増している。人数を減らし、感染対策を整えて開催したい。
- ③ 小学生保護者支援講座[独自事業]まずは、NP開催を目指し、余力があれば検討していく。
- ④ 外あそびわくわく(こどもへのまなざし)講座[独自事業]プレイワーカーが準備。生活でかかわる人と仕事でかかわる人へ、冒険ひろばの魅力を伝えていく。
- ⑤ 相談事業「えがお」随時[品川区助成事業]コロナ禍での悩みも意識し随時相談を受けていく。利用者の最善の利益のため情報共有、連携に努める。
- ⑥ ら〜ん・ういず随時[独自事業]真摯に相談を受け、個人、団体をつなげるよう努める。こういう窓口があることの発信の工夫。
- ⑦ 親子広場事業交流・学習会[独自事業]求められているテーマを見据えながら、開催。更に広げていく。区が新たに行う親子ひろばなどの支援の仕組みとのつながりを図る。

(4)つながりあい広場 <点から線へ、そして面へのネットワーク>

- ① ニュースレター発行他広報[独自事業]誰に何を何のために届けたいのか意識。SNSの中で完結しない。IT関係の管理者を置く必要が急務である。
- ② 各種ネットワーク参加
*子育て子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ(子ネット)[事務局担当]変動のある中、つながりあうことの重要性が増えている。各々が担っていくことを見つめ直し、考えるきっかけに。共通するテーマでの講座や講演会の企画を試みる。
*(一社)子ども若者応援ネットワーク品川[団体参加]フリースペースの移転。団体として関わり、その力で様々な世代にまたがる課題解決の一助でありたい。
*協働ネットワークしながわ[団体参加]区との協働しての継続が厳しい状況を見極め、無理なく関わっていく。

③ 品川子育てメッセ[共催 品川子育てメッセ実行委員会・品川区]工夫してコミュニケーションを取りながらオンライン開催を目指す。持続可能なメッセを考えていく。

④ 児童虐待防止推進事業[共催 品川子育てメッセ実行委員会・品川区][協働 ウーブ 品川こども劇場 しながわチャイルドライン]オンライン開催も視野に入れて、検討していく。

(5)きかくの広場 <智恵と工夫を持ち寄ろう>

おばちゃんち内外の声をよく聞き、やるべきことでできるところがあれば始めていく。

*子育てサポーター養成講座の発展形として、「品川の子育て連続講座」を企画する。

(6)行政、地域、他団体とのネットワーク

<共催・協働事業>

① にじっこコンサート <にじっこコンサート実行委員会>

2022年1月16日(日) きゅりあん大ホール 新沢としひこ・ケロボンズ コンサート

② あそびうたフェスティバル <あそびうたフェスティバル実行委員会>

2022年2月23日(火) 荏原文化センター大ホール

③ 子ども・若者応援セミナー <子ども若者応援ネットワーク>

オンラインを活用して開催することを提案。

④ ふれあいこどもまつり <実行委員会>

2022年2月11日(金) 舞台鑑賞・ワークショップ・あそびのひろば(運営参加)

2021年度 役員体制について

理事

- (1) 坏祐美
- (2) 岩崎みつ子
- (3) 犬塚尚樹
- (4) 小栗崇資
- (5) 片山享子
- (6) 今野良子
- (7) 椎名裕子
- (8) 武田寛美
- (9) 土屋順子
- (10) 土屋美恵子
- (11) 堀込由美子(新任)
- (12) 宮里和則
- (13) 幾島博子

- ・代表理事
- ・副代表理事
- ・副代表理事

幾島博子
岩崎みつ子
小栗崇資

監事

- (1) 城後弥生
- (2) 八神尚美

◆事務局からのお知らせ◆

[ニュースレターvol.42発行しました](#)

*ニュースレターのバックナンバーを公開しています

Puboo (電子書籍スタンド) <https://puboo.jp/users/obachanchi>

*おばちゃんちの会費のお支払いやご寄付が、キャリア払いやPayPalなど郵便振替以外の決済方法にも対応しました

STORES(ネットショップ) <https://obachanchi.stores.jp>

(郵便振替でご不便のない方は、いままでどおり 郵便局からご送金ください)



ふれあいの家ーおばちゃんち 2021総会報告号

著 obachanchi

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
